

えんだより

2019年

12月号

NO. 165

シャローム三育保育園



今年も残すところ1か月となりました。皆さんは今年一年どんな年だったでしょうか。子どもの成長と共に、たくさんの思い出ができた事と思います。今年も台風や豪雨で大きな被害が出ました。子どもを巻き込んだ事故や事件など本当に私たちの身近なところで起きたことがたくさんあり、明日は我が身と感じた一年でもありました。被害に遭われた方々が一日も早く平穏な日常を取り戻すことができることを祈るばかりです、

年末年始は家族揃って過ごす事も多いと思います。一年を振り返って、あんなこと、こんな事を思い返して、楽しい時間を過ごしてください。

園長 村上 渉

掲示板練習メッセージ12月1日頃配信いたします



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2 礼拝	3 体操教室	4	5 英語教室	6 クリスマス会 リハーサル	7
8	9 礼拝	10 体操教室	11 避難訓練	12 英語教室	13	14 クリスマス会
15	16 礼拝	17 クッキング (3.4.5歳児)	18 誕生会	19 英語教室(4.5歳児)	20 一日散歩 (5歳児)	21
22	23	24 クリスマス お楽しみ会	25	26	27	28
29	30 年末休み	31 年末休み				

★年末年始のお休み：12月30日(月)～1月3日(金)

1月4日(土)から通常保育となります。



クリスマスの贈り物

もうすぐクリスマスですね。今年も保育園のクリスマス会では、恒例のくま組とうさぎ組で降誕劇を行います。イエス・キリストが生まれた夜に何が起きていたのか、クリスマスの本当の意味を子どもたちが劇を通して教えてくれます。

降誕劇のキャストは、案内役のナレーター、救い主イエスの母になったマリアとその夫のヨセフ、重要な神のお告げを伝える天使、新しい王が生まれる噂を聞き心配になった王様、人口調査と重なり帰省した人で満室の宿屋さん、救い主の誕生を知らせる輝く星たち、その輝く星を見つけた東の国の3人の博士、そしていつものように野原で羊の番をしていた羊飼いと羊たちが登場します。救い主を待ち望む人々のところに、天使が表れて救い主の誕生を知らせます。

今年も新キャストが登場します。王様と兵隊です。当時、ユダヤの地を統治していたのはヘロデという王様です。とても猜疑心が強く、自分の地位を脅かすような噂が立つものなら身内でも容赦の無い制裁を与える残虐な王様で知られています。博士たちが不思議な星を見つけ救い主を探す旅の途中でヘロデ王のところに立ち寄りますが、王様から救い主を見つけたら知らせるように命じられ、救い主の危険を察した博士たちは王様には知らせずに別の道で帰ってしまいます。この後、お告げを受けたヨセフとマリアはヘロデ王の策略から逃れるためにイエス様を連れてベツレヘムを離れ、エジプトで過ごしました。救い主の誕生は決して順風では無かったのです。当時の時代背景や人物像を知ることによりクリスマスの意味がさらに深く感じられるのではないのでしょうか。



聖書には「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。」とあります。命を狙うヘロデ王も含めすべての人の為にイエス様をこの世に贈ってくださったのです。降誕劇の最後に「神様がイエス様というプレゼントを贈ってくださった」というセリフがあります。クリスマスはその神様からのプレゼントをお祝いする日です。そして、自分も家族も大切な人たちもこの日まで元気に過ごせたことへの感謝の気持ちを表す日です。私たちの「いのち」の存在にこそ本当の価値と意味がある「贈り物」であることを確かめる日にしたいものです。